

災害から身を守る

台風・地震に備えよう

一昨年10月の令和元年東日本台風（台風第19号）では、市内でも浸水などの被害が発生しました。また、地震もいつ起こるか分かりません。新しい生活様式が求められる今、災害への備えを見直しましょう。

☎ 055(948)1482
 危機管理課

●自助・共助・公助

限界があります。そのため、皆さんの自助・共助が必要不可欠です。

○自助…自分の身は自分で守る

避難持出品の準備は自分で行いましょう。（常備薬、毛布、食料など）
 畳や家電を高いところにあげるなどの対策も重要です。

○共助…隣組や近所で助け合いを

隣近所で声を掛け合い、避難所運営は避難者同士で助け合いましょう。
 日頃より、自主防災活動に参加をしておくことが大切です。

○公助…防災機関の救助

消防署（団）や建設業の皆さんなど関係機関と協力して対応します。
 しかし、行政・防災関係の公助には

●台風・地震に備える

これから出水期（6月～10月）に入り、梅雨前線豪雨や台風による集中豪雨により、河川の急な増水やはん濫、土砂災害発生などの危険性が高まります。いざというときに備え、もう一度、災害について考えてみましょう。

○避難とは

避難とは「難」を「避」けることです。土砂崩れや洪水などの恐れがなく、自宅で安全確保が可能な場合は、避難所へ行く必要はありません。
 また、避難先は小中学校や公共施設だけではありません。事前に安全な親

戚・知人宅を避難先として新たな避難方法（分散避難）を考えてみましょう。

○避難所の3密防止

多くの人が集まる可能性のある避難所では、新型コロナウイルス等の感染リスクを高める3つの密の状態が発生しやすくなります。

避難所内では、感染症対策に市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

○感染症対策として

各家庭で、マスク・体温計・アルコール消毒液・スリッパなど感染症対策グッズの用意をお願いします。

○情報収集について

大雨や台風では水位・雨量や気象情報に注意しましょう。雨雲の様子や河川の水位、土砂災害などの情報収集方法は市防災マップの43ページを参照してください。

○市から発信する情報

避難行動などを判断するひとつの情報として、市から警戒レベルに合わせて避難情報を同報無線などで発信します。放送内容と同様の内容を文章で受け取ることで、伊豆の国市メール配信サ

警戒レベル	防災情報	住民がとるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	既に災害が発生しているため命を守る最善の行動
警戒レベル4	避難指示（緊急）	避難
警戒レベル3	高齢者等避難	高齢者などは避難（他の住民は避難の準備）
警戒レベル2	注意報	避難方法の確認
警戒レベル1	早期注意情報（警報級の可能性）	災害への心構えを高める

▲ 5段階の警戒レベル

ビスやLINEの伊豆の国市公式アカウントもぜひご利用ください。



▲市公式 LINE 登録 QR コード

●地震に備える

地震は、大雨や台風とは違い、備える時間もなく突如発生します。そのため、常日頃の備えや準備が重要となります。大きな被害の発生を防ぐために、事前に身の回りを確認して、安全対策をしておきましょう。



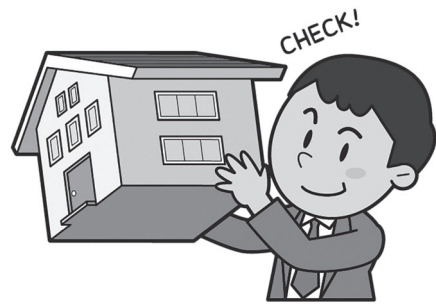
○木造住宅耐震補強や

耐震シェルター・防災ベッド

設置の費用を補助します

市では、区や県と協力して推進している木造住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKAI（東海・倒壊）10（ゼロ）」の一環として、耐震補強計画・補強工事の費用、耐震シェルター・防災ベッド設置の費用の補助します。

対象／市内にある昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅で、居住のために継続して利用している住宅（空き家・別荘は除く）



わが家の専門家診断
 （無料）

補強計画の作成及び 補強工事の実施

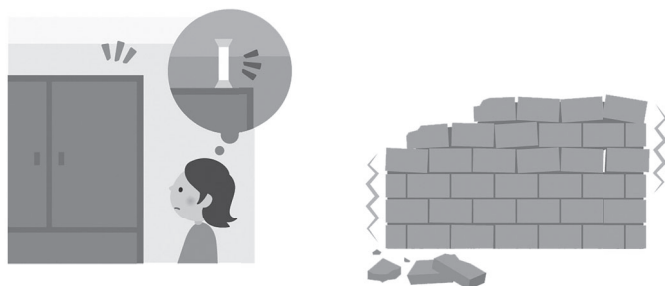
補助額

事業に要する費用の8割と100万円とを比較して、いずれか少ない額。
 ただし、高齢者のみが居住する住宅などについては、事業に要する経費の8割と120万円を比較して、いずれか少ない額。
 ※耐震補強助成を受ける際、新型コロナウイルス感染症対策により在宅避難促進の条件を満たした住宅には、補助額15万円を上乗せします。

耐震シェルター・ 防災ベッドの設置

補助額

事業に要する費用の5割とそれぞれの補助上限金額（耐震シェルター：125,000円、防災ベッド：150,000円）を比較し、いずれか少ない額。
 ※住宅の1階部分への設置となります。
 ※耐震シェルターの設置については、65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯もしくは避難行動要支援者名簿に記載された避難行動要支援者のいる世帯が住む住宅である必要があります。



その他にも…

○家庭内家具固定 ○ブロック塀等撤去・改善

などの助成もあります。詳しくは、お問い合わせください。